

令和5年度 加古川市立志方東小学校自己評価

学校教育目標 「こころ豊かな たくましい子」—自ら考え、正しく判断し、やりぬく子を育てる—

目指す児童像 「生きる力」を育む	
(1)考える子「知」 ・確かな学力を確立する学習指導の充実を図る。自ら課題を見つけ、学ぶ意欲と態度の育成を重視する。 ・協同的探究学習に基づく授業方法についての研究を継続し「わかる学力」の育成とともに「できる学力」の定着に取り組む。 ・1人1台端末活用による個別最適化された学習指導の定着を図る。	A
(2)やりぬく子「知」「徳」 ・望ましい人間関係を育む特別活動の充実を図る。 ・自立と共生を目指す特別支援教育を推進する。 ・人間的なふれあいと内面理解に基づく生徒指導の充実を図る。	A
(3)助け合う子「徳」 ・道徳の時間を要として教育活動全体を通じて、人間としてより良く生きるための基盤となる道徳性を養う。 ・いじめや不合理なことは人間として絶対に許さないという意識を徹底させるとともに、児童の実態や発達段階に応じた情報モラル教育を実施する。 ・命の大切さや自他に対する肯定的な態度を育成する人権教育を推進する。 ・全校同一時間に実施する道徳科の目標・内容を踏まえた指導方法の工夫改善を図る。	A
(4)たくましい子「体」 ・体育科や休み時間において運動に親しむ資質や能力を計画的に育成しながら、体力・運動能力の向上を図ると共に、体力づくりの習慣化を目指す。 ・食育及び安全防災教育を推進するとともに、学校安全管理体制の充実を図る。	A
目指す教師像 「児童・保護者・地域住民から信頼される教職員」	
・教育のプロとして児童理解に努め、専門性と実践的指導力を組織的に向上させる。 ・教育に責任感と使命感を持ち、人権感覚を磨き、豊かな人間性を備える。 ・社会の変化に対応するために、自己変革力の醸成に努める。 ・非違行為をさせない職場環境の醸成に努める。	A
目指す学校像 「地域とともにある学校」—地域の光となれる学校—	
・志方地区学校運営協議会(コミュニティスクール)の推進 ・豊かな自然に囲まれた小規模校であり、地域の手厚い支援を受けられるという学校の特色を生かした教育活動を展開する。一方、本校が抱える教育課題とその解決策を共通理解したうえで、日々の教育活動に取り組む。 ・開かれた学校づくりに積極的に取り組み、「地域とともにある学校」の実現に取り組む。 ・新型コロナウイルス感染症対策、いじめ対策など、安心安全な学校づくりに努め、信頼される学校づくりに取り組む。	A
働きやすい職場を目指して	
・ワーク・ライフ・バランスに配慮された職場環境の中で、教職員一人一人の個性と能力が発揮でき、意欲的に教育活動に取り組むことができる、人権意識の高いハラスメントを許さない学校づくりを図る。	A
G I G A スクール構想実現に向けて	
・これまでの教育実践と最先端のICTのミックスを図るための教師の資質向上に努める。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。 ・情報端末を家庭に持ち帰り、授業の予習・復習を行い、各自自分のペースで継続的に取り組むなど、家庭学習の充実を図る。 ・学校における事務を迅速かつ便利にするなど、校務の効率化を図る。	A